

人口（世帯）統計の体系

統計委員会基本計画部会 第3WG

2008年2月1日（金）

阿藤誠

I. 人口静態に関する統計（人口の規模と構造（属性別構成）に関する統計）

1. 人口センサス（男女・年齢・配偶関係・居住地・就業状態などの属性別人口）
 - ① 「国勢調査」（総務省統計局）
2. 行政記録
 - ① 地域住民（日本人）・・・「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数」（総務省自治行政局）
 - ② 日本人（日本国籍を有する国民）・・・戸籍
 - ③ 外国人（日本に居住する者）・・・「在留外国人統計」（法務省）
 - ④ 海外に居住する日本人・・・「海外在留邦人調査統計」（外務省）
3. 加工統計
 - ① 「現在推計人口」（総務省統計局）
 - ② 「将来人口推計」（厚生労働省・研究所）
4. 標本調査
 - ① 「国民生活基礎調査」（厚生労働省）など

II. 人口動態に関する統計（人口変動要因に関する統計）

- A. 自然動態（出生、死亡とこれに直接関連する事象の統計）
 1. 人口センサス
 - ①同居児法による推定出生統計・・・「国勢調査」
 2. 行政記録
 - ①出生・死亡・婚姻・離婚・死産・・・「人口動態統計」（厚生労働省）
 3. 加工統計
 - ①生存・死亡状況・・・「生命表」（厚生労働省）
 4. 標本調査
 - ①縦断（パネル）調査・・・「21世紀出生児縦断調査」（厚生労働省）、「21世紀成年者縦断調査」（厚生労働省）
 - ②結婚・出生調査・・・「出生動向基本調査」（厚生労働省・研究所）など

B. 社会動態（国内・国際人口移動／国籍変更）

a. 国内人口移動

1. 人口センサス

①前従地／現住地による…「国勢調査」

2. 行政記録

①転入届・転出届による…「住民基本台帳人口移動報告」（総務省統計局）

3. 標本調査

①「人口移動調査」（厚生労働省・研究所）

b. 国際人口移動

1. 行政記録

①「出入国管理統計」（法務省）

c. 国籍異動

①国籍異動（法務省資料）

III. 世帯に関する統計

1. 人口センサス

① 「国勢調査」

2. 行政記録

① 「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数」

3. 加工統計

① 「世帯数の将来推計」（厚生労働省・研究所）

4. 標本調査

① 大規模標本…「住宅・土地統計調査」（総務省統計局）

② 「国民生活基礎調査」

③ その他

人口（世帯）統計に関するメモ

1. 国勢調査

(1) 有用性

- ①国・地方自治体の政治・行政のベース人口として不可欠
- ②国・地方自治体の実施する標本調査の母集団情報として不可欠
- ③各種統計（人口当たりの率）の分母人口として不可欠
- ④推計人口のベース人口として不可欠

(2) 課題

- ①回収率の低下
- ②調査実施のための人的資源
- ③調査項目の精査（標本調査との住み分け）

(3) 対応

- ①2010年調査における対応
- ②その後の対応

2. 住民基本台帳人口

(1) 有用性

- ①国勢調査を代替しうるポテンシャルあり。
- ②現状では、住民基本台帳（住基ネット）の利用による国勢調査の補完。

(2) 課題

- ①転出届（予定日）と転入届日とのタイムラグがあり、常に過少人口となる。
- ②毎年3月末現在の集計（移動が激しい時期）
- ③集計の多様化（性、年齢各歳別人口；世帯主の性・年齢・世帯人員別世帯数；世帯主との続柄別人口；性・年齢別国籍移動数など）

3. 登録外国人統計（在留外国人統計／出入国管理統計）

(1) 有用性

- ①外国人人口の増加趨勢（ならびに増加見通し）の下、外国人人口の正確な把握に不可欠
- ②日本人についての住民基本台帳人口とあわせることにより、日本の総人口の把握が可能

(2) 課題

- ①集計の多様化（毎年次、性・年齢各歳別人口、配偶関係別人口、性・年齢・世帯人員別世帯数（+国籍別）；在住期間別）

4. 人口動態統計

(1) 有用性

- ①「推計人口」の動態資料として不可欠
- ②(少子化の時代の)出生・婚姻・離婚の動向把握にとり不可欠
- ③死亡動向の把握、死因分析に不可欠
- ④「生命表」作成にとり不可欠

(2) 課題

- ①外国人についての集計の多様化(特に年齢別の集計)
- ②出生・婚姻・離婚の月別年齢各歳(生年)別の統計が必要(現状は死亡のみ)

5. 住民基本台帳人口移動報告

(1) 有用性

- ①毎年の人口移動の動向を把握できる。
- ②特に地域別人口の動向把握に有用
- ③地域別人口推計にとっても利用可能

(2) 課題

- ①性・年齢(各歳)別転出・転入移動数の作成(現状は性別移動数のみ)
- ②市区町村別転出・転入移動数の作成(現状は都道府県レベルのみ)

6. 現在推計人口

(1) 有用性

- ①国・地方自治体の行政のベース人口として不可欠
- ②各種統計(人口当たりの率)の分母人口として不可欠

7. 生命表

(1) 有用性

- ①国民の生存・死亡/健康/保健状況の集約的指標として不可欠
- ②将来推計人口・公的年金計算のための生存率推計のベースとして不可欠